



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社マーケットエンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 3135 URL <http://www.marketenterprise.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 泰士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 今村 健一 (TEL) 03-5159-4060
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の業績（平成27年7月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	2,340	—	87	—	87	—	53	—
27年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年6月期第2四半期	10.54		10.16					
27年6月期第2四半期	—		—					

- (注) 1. 当社は、平成27年6月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年6月期第2四半期の記載及び対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年6月期第2四半期	1,373	—	935	—	68.1	
27年6月期	1,301	—	882	—	67.8	

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 935百万円 27年6月期 882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	—	—	0.00	0.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,250	31.6	320	34.6	321	41.3	200	46.3	39.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、業績予想における1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年6月期2Q	5,069,000株	27年6月期	5,069,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年6月期2Q	104株	27年6月期	—株
----------	------	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年6月期2Q	5,068,994株	27年6月期2Q	—株
----------	------------	----------	----

(注) 平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「More Reuse! ～もっとリユースを身近に!～」をビジョンに掲げ、ネット型リユース事業（販売店舗を有さない、インターネットに特化した多種多様なリユース品の買取及び販売）を展開しております。

当第2四半期累計期間（平成27年7月1日から平成27年12月31日まで）におけるわが国経済は、政府・日銀の金融政策により企業収益や雇用情勢が緩やかに改善し、景気は緩やかな回復基調で推移する一方、不安定な世界経済情勢の影響を受けた株価、為替の乱高下等、未だ先行きの不透明感は拭えない状況であります。

このような経済情勢下、当社が直面するリユース市場、EC市場は、共に堅調に拡大を続けております。

リユース市場においては、従前から引き続き「低価格志向」「かしこい消費」への消費者意識の高まりに加え、「シェアリングエコノミー」の思想が徐々に浸透しており、商品の購買活動にあたって当該商品の売却を考慮して購入している消費者が特に若年層に多く見られるようになっております。この意識変化がリユース市場成長の一つの要因であると考えられます。

また、EC市場においては、従前より引き続き、タブレットやスマートフォンといったスマートデバイスの普及により、老若男女を問わずインターネットサービスの利用が拡大し、インターネット上で商品・サービスを購入することがより普遍化しており、その規模が拡大しております。

以上のような事業環境を背景に、当社は積極的な事業展開を進め、平成27年10月には国内7拠点目となる「神戸リユースセンター」を新設し、近畿・中四国地方における仕入基盤の拡充を図りました。

また、リユースに対する社会的関心の高まりを背景に、事業提携に関する専門部署を設立し、積極的な営業展開を図った結果、大手企業・中小企業を問わず事業提携に関する引き合いが増加いたしました。それに伴い当該提携により買取依頼が増加いたしました。その比率は拡大を続け、月次での多寡はあるものの、多い月では全買取依頼の10%強を占めるまでに至り、顧客ターゲットの拡大が図られつつも、効率的な仕入規模の拡大が実現されつつあります。

当社の事業特性上、転居に伴う商品の買い替えや、商品の新規購入等のニーズが高まる第4四半期（4月～6月）に買取依頼、販売が集中する結果、当該四半期の収益性が高くなる一方で、第2四半期累計期間（7月～12月）は売上高が減少し、それに伴い利益が出づらいつつ傾向にあります。

しかしながら、当第2四半期累計期間におきましては上記をはじめとした積極的な取り組みが奏功し、商品在庫高を順調に拡大しつつも、売上高は2,340,534千円、営業利益は87,082千円、経常利益は87,111千円、四半期純利益は53,440千円となり、第2四半期累計期間として、過去最高の業績となりました。

参考までに、前事業年度及び当事業年度における四半期別の業績進捗状況を、以下に記載いたします。

前事業年度 (平成27年6月期)	第1四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	第3四半期 累計期間	通期
売上高(千円)	833,468	1,794,727	2,798,922	3,988,688
売上進捗率(%)	20.9	45.0	70.2	100.0
営業利益(千円)	△3,151	47,473	124,163	237,683
営業利益進捗率(%)	△1.3	20.0	52.2	100.0

(注) 当社は、平成27年6月17日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成27年6月期第1四半期、第2四半期及び第3四半期の四半期報告書は提出しておりませんが、金融商品取引法第193条の2第1項に基づき、平成27年6月期第3四半期の四半期財務諸表について、有限責任あずさ監査法人により、四半期レビューを受けております。

当事業年度 (平成28年6月期)	第1四半期 累計期間	第2四半期 累計期間	第3四半期 累計期間	通期 (業績予想)
売上高(千円)	1,056,675	2,340,534	—	5,250,000
売上進捗率(%)	20.1	44.6	—	—
営業利益(千円)	7,959	87,082	—	320,000
営業利益進捗率(%)	2.5	27.2	—	—

(注) 通期の売上高・営業利益及び、第1四半期、第2四半期の各進捗率は、平成27年8月7日に公表いたしました平成28年6月期の業績予想を基に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前事業年度末と比べて72,390千円増加し、1,373,456千円となりました。これは主に、仕入規模拡大に伴う商品の増加75,530千円及び拠点開設等に伴う有形固定資産の増加33,899千円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末と比べて19,082千円増加し、437,568千円となりました。これは主に、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少30,330千円や借入金の調達による1年内返済予定の長期借入金の増加16,680千円及び長期借入金の増加9,705千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて53,307千円増加し、935,887千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加53,440千円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、667,120千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、45,590千円の資金の減少となりました。これは主に税引前当四半期純利益の計上87,111千円があったものの、仕入規模の拡大によるたな卸資産の増加79,895千円及び法人税等の支払額60,873千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、53,371千円の資金の減少となりました。これは主に拠点等の開設により有形固定資産の取得による支出44,868千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、26,252千円の資金の増加となりました。これは主に長期借入れによる収入50,000千円や長期借入金の返済による支出23,615千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成27年8月7日に公表いたしました平成28年6月期の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	739,830	667,120
売掛金	103,251	111,510
商品	309,274	384,804
貯蔵品	2,208	6,572
その他	27,180	42,369
流動資産合計	1,181,744	1,212,378
固定資産		
有形固定資産	31,250	65,150
無形固定資産	201	1,498
投資その他の資産	87,867	94,428
固定資産合計	119,320	161,077
資産合計	1,301,065	1,373,456
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	50,004	66,684
未払金	104,452	130,091
未払法人税等	65,979	35,649
その他	116,386	113,775
流動負債合計	336,822	346,200
固定負債		
長期借入金	81,663	91,368
固定負債合計	81,663	91,368
負債合計	418,485	437,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,865	304,865
資本剰余金	284,505	284,505
利益剰余金	293,210	346,650
自己株式	—	△132
株主資本合計	882,580	935,887
純資産合計	882,580	935,887
負債純資産合計	1,301,065	1,373,456

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,340,534
売上原価	1,236,400
売上総利益	1,104,133
販売費及び一般管理費	1,017,050
営業利益	87,082
営業外収益	
自販機収入	1,041
その他	486
営業外収益合計	1,527
営業外費用	
支払利息	548
支払補償費	795
その他	155
営業外費用合計	1,499
経常利益	87,111
税引前四半期純利益	87,111
法人税、住民税及び事業税	31,571
法人税等調整額	2,098
法人税等合計	33,670
四半期純利益	53,440

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	87,111
減価償却費	9,129
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,259
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79,895
その他	7,674
小計	15,761
利息及び配当金の受取額	69
利息の支払額	△548
法人税等の支払額	△60,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,590
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△44,868
敷金及び保証金の差入による支出	△6,750
その他	△1,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△23,615
自己株式の取得による支出	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72,710
現金及び現金同等物の期首残高	739,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	667,120

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、ネット型リユース事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。